



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2760

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1992～'93年度、国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから
Real Happiness is Helping Others



最初の公式訪問を前に津島神社へ参詣

R.I.会長／クリフォード L.ダクターマン R.I.理事／松本卓臣

ガバナー月信 1992.8

AUGUST No.3

国際ロータリー第2760地区

1992～'93ガバナー 神 戸 政 治

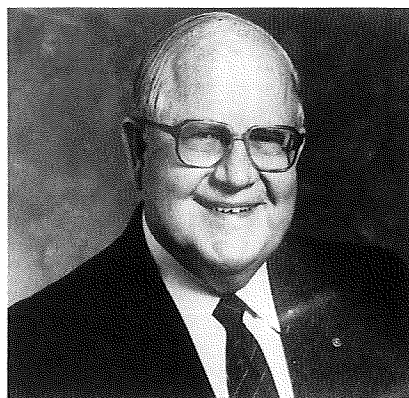
事務所 〒460 名古屋市中区栄五丁目24番33号 フルエング株内
TEL (052) 241-0230 FAX (052) 241-0275

R.I.会長メッセージ

ROTARY INTERNATIONAL



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA



1992-'93年度地区ガバナー各位：

拝 呈

私たちのリーダーとしての年度が始まりました。皆様の地区における地区協議会ならびに会長エレクト研修セミナーは大成功を博したものと拝察申し上げます。

では、まず、エバンストンの国際ロータリー本部において開催された非常に重要で有意義な会合についてご報告申し上げます。34名の経験豊かなロータリアンが実行グループのゼネラル・コオディネーターおよび副ゼネラル・コオディネーターとなるために3日間にわたる研修セミナーに参加されました。これらのロータリアンは17部門にわたる実行グループのリーダーとして1992-'93年度の地区ガバナーを補佐されることになります。この実行グループおよび会長任命のインフォメーション・カウンセラーの計画についてはカンザス・シティでの国際協議会の席上でご説明申し上げました通りであります。

実行グループは、地区ガバナーが各地区の委員会を指導し奨励し動機付け、各クラブが特定のロータリー・プログラムを実践するに当って、その指導に当る地域と経験を備えたロータリアンのチームのことであります。実行グループは地区ガバナーが承認し要請された時にのみ、その援助を行うことになっています。ロータリー世界の全地域を網羅するため、実行グループは621人のチーム・メンバーよりなり、143人のインフォメーション・カウンセラーが会長により任命されました。それらのロータリアンの氏名と住所は、7月1日付けにて発行された1992-'93年度公式名簿に記載され、各実行グループのリストとその目標は本書簡に添付されています。

各実行グループのゼネラル・コーディネーターと副ゼネラル・コーディネーターは準備を整え、実行グループのメンバーとともに、貴地区のために役立たせて頂く機会を待っております。また、インフォメーション・カウンセラーの方々は、新会員のオリエンテーションから、ロータリアンのロータリーについての知識を向上させるロータリー情報、その他のプログラムを実施されるに当って補佐する準備を整えております。

皆様がそれぞれ地区のニーズを分析されるに従い、貴地区ならびに地区内クラブのロータリー奉仕とその活動の質を向上させる貴地区委員会を指導するよう実行グループに要請してください。それに加え、貴地区内における卓越したロータリー・プロジェクトについて、国際ロータリーにてロータリー奉仕の有益な模範的活動の資料を収録できるように貴地区の各地区委員会から実行グループへ、そのインフォメーションや資料を提出して頂くことが非常に重要なこととなります。

各実行グループのメンバーからも、皆様ならびに貴地区ガバナーへの援助の提供を申し出る書簡をお受け取りになられることと存じます。皆様が地区大会や会長エレクト研修セミナーなどの各種地区会合を計画されるに際し、実行グループの方々にその補佐をお求めになられますようにお勧め申し上げます。

これらの実行グループのメンバーを貴地区におけるロータリー奉仕の資源としてご起用くださるようお願いするとともに、実行グループが皆様にとって有用な存在となりますことを願っております。

最後に、皆様の年度が大成功を収めますようにお祈りいたしております。ロータリー世界は「レッド・コート」の到来を知っています。私は、皆様がロータリーにおける任務を遂行されるに従い、それらが素晴らしい体験となりますことを確信いたしております。そして、皆様ご自身も、その日常生活において「まことの幸福は人助けから」の真理を見出し、生きる喜びに溢れた毎日をお過ごしになられますようにお祈り申し上げます。

敬 具



クリフォード L. ダクターマン
国際ロータリー会長

R.I.会長メッセージ

1992-'93年度実行グループの目標

高齢者への奉仕

1. 各地区にて少なくとも6クラブが高齢者のための新しい、あるいは現存するプロジェクトを実施する。
2. 実行グループの各メンバーは、少なくとも2回、地区大会またはゾーン研究会で講演する。
3. この分野で成功した活動について各地区ガバナーへ伝達し、活動についての資料を取り揃えていることを周知させる。

薬物濫用防止

1. 各地区にて少なくとも1クラブが、そのクラブ会員の少なくとも75パーセントが参加する、新しい薬物濫用防止プログラムに着手する。
2. ロータリー以外で薬物濫用防止に携わっている機関や団体のリストを含む、ロータリーおよびロータリー以外の薬物濫用防止プログラムに関する資料のデータベースを開発する。
3. 実行グループの各メンバーの担当地域において、少なくとも1回、地区レベル、または多地区合同レベルの薬物濫用防止プロジェクトを実施する。

飢える人達への食糧

1. 飢餓の追放を目指すロータリー・プログラムとそれに参加できる機会をロータリアンに周知させる。
2. クラブおよび地区で20件の飢餓と戦うプロジェクトを創始させるリーダーシップを提供する。
3. 各地区が「飢餓と戦う20の方法」のうち、少なくとも4つの方法を実行するように奨励する。

機能的識字率の向上

1. 地区セミナーやクラブ・プログラムを通じて、ロータリアンを啓発し、熱意をもたせ、動機付ける地区委員長を任命する。
2. 各クラブがそれぞれの地方のまたは全県の機能的識字率向上機関の活動を助長する委員会を任命するように奨励する。ロータリーが提供できる専門的な技能を活用する。
3. 各地区で少なくとも3つの新しい機能的識字率の向上をはかるクラブ・プログラムを奨励する。

ポリオ・プラス

1. 全クラブ、全地区のロータリアンに第一次ポリオ・プラス（予防接種の付与）はほぼ完了し、第二次（根絶）プロジェクトを2005年までに完了させなければならないことを周知させる。
2. 開発途上国および先進国の双方においてポリオ・プラス根絶プログラムにクラブおよび地区が参与することを推進させる。
3. ポリオ・プラスの活動計画を開発するに当って、WCS、RVC、RVIA、ローターアクト、会員増強、広報などの他の実行グループとの提携をはかるようにクラブや地区を指導する。

天体地球の保全

1. 植樹、都市／農村地域の森林保護プログラムを拡張する。
2. 水資源の清浄化と開発プログラム。
3. 大気汚染を減少させるプログラム。

ローターアクト

1. 新しいローターアクト・クラブを育成し、強化する。
2. ロータリアンのローターアクト・プログラムに対する認識と支持を高める。
3. ロータリー・クラブ、ローターアクト・クラブ、実行グループ、および R.I. などの間のコミュニケーションを向上させる。
4. 1993年3月8日－14日のローターアクト創立25周年を推進する。

ロータリー村落共同隊

1. 1993年6月30日までに、全地区に少なくとも1つのRVCを結成する。
2. 有意義なRVCプロジェクトを広報するニュース・レターを年に4回発行し、全地区ガバナーへ配布する。
3. 1993年1月までに、RVCの結成および育成に関するセミナーを開催し、実行グループを通して全地区ガバナーが参加できるように招待する。

ロータリー・ボランティア活動

1. ロータリアンならびに21歳以上のロータリアンではない人がボランティアとして、農業、識字率の向上、その他の長期プロジェクトで奉仕する2年間プログラムの構想を推進させる。

R.I.会長メッセージ

2. ボランティアを活用できるロータリー・ボランティア活動およびそのプロジェクトの数を増加させる。
3. プロジェクトとボランティアのデータベースを拡張し、ボランティアとして奉仕しようとする人にはプロジェクトを見出し、ボランティアを必要とするプロジェクトを提出するクラブへはボランティアを派遣できるようにする。

職業奉仕

1. 10月の職業奉仕月間に特別な重点を置いて、各ロータリー地域毎に、職業奉仕の目的、目標、方針についてのロータリアンの認識を高めさせる。
2. ロータリー・ボランティア活動を個人として職業奉仕を実践する方法として奨励する。
3. 各地域社会における問題または関心事につき、ロータリー・クラブと他の事業団体、特に各地の商工会議所との協力、提携関係を強める。

世界社会奉仕

1. 全地区（または地区内のクラブ）が、それぞれに、世界社会奉仕プロジェクト交換に登録されているプロジェクトのひとつを支持し援助する。
2. 実行グループの各メンバーの担当地域において、クラブ WCS 委員長、その他のロータリアンのために、地区別又は多地区合同で、少なくとも 1 回、WCS 訓練セミナーを開催する。
3. 全地区が、少なくとも 1 件、現物拠出ネットワークに現物の拠出を申し出るか、登録されている現物の提供を要請する。
4. 各地区の WCS 委員長は、その年次報告書に、ボランティア、資金、寄贈物資、調整、運輸などの面で、クラブまたは地区のプロジェクトを支援した、その地方／地域の団体組織の名称と住所を記入して報告する。
5. 有意義な新しい WCS プロジェクトのアイデアを他のクラブや地区と分かち合う。

世界親睦活動

1. 世界親睦活動を全ロータリー世界に広める。
2. 世界親睦活動グループへの参加会員を増やす。
3. 全地区大会にて世界親睦活動の番組またはカウンターを設ける。

拡 大

1. 全ロータリー地区へクラブの拡大に関する現況資料を実行グループメンバーから個人的に伝達する。
2. 全ロータリー地区が、少なくとも2つの新クラブを結成するように指導する。
3. 拡大活動の成果と反響を各地区およびR.I.へ勧告する。

会員増強

1. 全ガバナー、全クラブ会長に、新会員の選考、現会員の維持を含めて、会員増強の必要性をしっかりと認識させる。
2. 地区ガバナーが会員増強の目標を設定し、それを達成させる計画を実行するように情報を与え、動機付け、指導し、奨励する。
3. 1992-93年度には、現存ロータリー・クラブの全部が会員数の純増を実現させる。

広 報

1. R.I.実行グループの構想と目的を、全ロータリー地区およびクラブのために援助、補佐するグループとして周知させる。
2. 地域や地区、各クラブでの会合で、ロータリー奉仕の成果を分かち合って、有効な広報活動の意義について世界中のロータリアンの理解を深めさせる。
3. 一層、充実した専門的な広報活動を行い、それには、広報専門のロータリアンを見出し活用して、ロータリアン以外の人たちが持っているロータリーのイメージを高める。

青少年への奉仕

1. ロータリー世界における青少年への奉仕活動についての認識を高める。
2. 若い世代の人たちに青少年への奉仕に関する認識を高めさせる。
3. 若い人たちの間で、先輩が後輩に良い手本を示し見せることを奨励し、不良行為に抵抗する訓練プログラムにおける同輩の指導を支持する。

ロータリー情報、新会員の適応教育と同化指導（会長のインフォメーション・カウンセラー）

1. ロータリー情報の質を向上させるように地区ガバナーを補佐する。
2. 各地区における新ロータリアンの入会手続き、適応教育を改善するように地区ガバナーを補佐する。
3. ロータリーにおける伝統の認識、推進を強化するように地区ガバナーを補佐する。

拡大・増強について

8月は拡大・増強の月



ガバナー 神戸 政治

クラブ拡大の歴史に少しふれてみると、初期にポールハリスは、「世界にロータリーを」と呼びかけたが、なかなか賛成を得られず1908年にサンフランシスコに2番目のロータリークラブが誕生した。

オークランド、シアトル、ロサンゼルス、ニューヨーク、ボストンと続いたが、拡大に熱中するあまりクラブ内の親睦が損なわれることになり、拡大運動は大きな力を持たなかった。

その頃シカゴRCでは、拡大にあまり賛成していなかったチェスリー・ペリーを拡大委員長に任命したが、ポールハリスは積極的に彼を説得し拡大賛成派に引き入れ、1910年に16クラブによる第1回ロータリー大会をシカゴで開いた。そして、現在のR.I.の前身であるロータリー連合会を結成し、ロータリーの拡大、各クラブ間の連絡・調整・奉仕の哲学追求をその目的とした。

チェスリー・ペリーは事務総長に選ばれ、1942年まで毎年再選を続けたのであります。

アメリカ国外では、カナダ(ウイニペグ)・ロンドン・マンチェスター・ダブリン・エジ

ンバラ・ハバナ・マドリード等々と続き、1920年には日本にもロータリークラブが誕生したことは皆様もご承知の通りであります。

現在、世界184ヶ国にわたりロータリークラブが存在しておりますが、統計によりますと会員の10%が毎年退会していくそうです。若しこれが正しいとすると、1年で約110,000人の会員を失っていくことになります。しかもそのうち約40,000人が会員である値うちがないといって退会すると言われています。

それでも僅かではありますが、ロータリアンは毎年増え続けています。毎年、110,000人以上のロータリアンに入会を勧め、新クラブの数は700~800クラブ、10~15地区を創設しています。新クラブにより会員が増え、既存クラブの会員が減少することを意味しています。

見方を変えて申しあげますと、近年3年間(1989~91)のロータリアン数の年間増加率は、3.2%→2.7%→2.0%へと年々下り続けていますが、2000年にはロータリアンはおおよそ1,500,000人になるでしょう。

此の数は素晴らしいことではありますが、社会的な努力という立場からロータリーの重要性を考えると会員数増だけでは不十分で、ロータリアンとしての質の向上が不可欠であります。質の高い新会員を迎えることが最も重要な点で、同様に退会者をなくすことも極めて重要なことでもあります。

クラブで親睦や友好を上手に創り出せなければ、奉仕意欲をかきたてられないということにはかなりません。世界の変化を認識し、社会と生活の変化に積極的に適応していくのがクラブ会長の任務であります。

●1987年から1991年までの年度別ロータリアン数の年間増加率(パーセント)

年	USCB	ASIA	CEEMA	SACAMA	CB & I	ANZO	合計
1987	1.2	3.2	14.8	5.0	0.9	-2.5	2.6
1988	1.2	3.9	2.2	1.2	9.5	-0.8	1.7
1989	3.8	5.9	1.5	2.0	1.2	-0.6	3.2
1990	1.4	6.6	2.5	3.0	1.2	-0.8	2.7
1991	1.4	3.8	1.8	1.0	1.1	-0.6	2.0

●1987年から1991年までの間のロータリアン数の平均増加率(パーセント)

年	USCB	ASIA	CEEMA	SACAMA	CB & I	ANZO	合計
1987～'89	1.8	4.7	4.6	2.4	1.0	—	2.4
1989～'91	2.9	5.4	1.0	2.0	1.2	-0.7	2.0

●地域別の低所得国および中間所得国の世界人口予測

地 域	1965～1980	1980～1989	1989～2000
サハラ以南アフリカ	2.7	3.2	3.2
東アジア	2.2	1.6	1.5
南アジア	2.4	2.3	1.9
ヨーロッパ、中近東、北アフリカ	1.9	2.0	2.0
ラテン・アメリカおよびカリブ海沿岸諸国	2.5	2.1	1.8
非常に悪い状況にある債務国	2.4	2.1	1.8

※資料： World Development Report, 1991, World Bank, Pages 274-275

拡大・増強について

拡大・増強月間によせて



地区拡大委員会 委員長 近藤 徹

会員増強・拡大月間は、1987年11月の R.I. 理事会において指定された最も新しい月間です。

“すべての生物は、その成長が止ったときから衰えが始まる”

と云われていますが、ロータリーにも同じことが云えると思います。

ロータリーが成長する道は、2つあります。1つは、内部拡大即ち会員増強であり、今1つは、外部拡大即ち新しいクラブの結成であります。

新クラブの設立は、ガバナーの重大な責務の1つではありますが、そこには幾つかの動機が挙げられます。その1つは、ガバナーあるいは分区代理からの要請であり、また1つは各クラブ会長のご決断であり、いま1つは、各クラブが迎えられる周年記念事業ではないかと思います。

いずれの場合も新クラブ設立のために必要なものは、“短期集中力”と“盛りあがる熱意”と“会員相互のコンセンサス”であります。

私ども2760地区の拡大委員会は、P.D.G 盛田、中村、加納の3氏をカウンセラーとして限らない努力をいたす所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会員増強月間に因んで



地区会員増強委員会 委員長 柴田 茂

会員増強は、ロータリーの基本です。みなさんは、常に増強に対する心構えを持っておられると思います。

「8月は会員増強月間です。」

今一度考えてみましょう。

あなたは、あなたのクラブが会員増強に真剣に取り組んでいると思いますか？

もし、あなたが、あなたのクラブが会員増強に対して真剣でないと思うならば、あなたのクラブの将来の発展は難しいでしょう。

会員の増強に対しては、会長や幹事あるいは、会員増強委員会に任せてあるという気持ちや雰囲気ではないでしょうか？

驚いたことに、会長・幹事が一人の会員も推薦したことがないクラブもあります。これでは、そのクラブの将来は無いといわざるをえません。

それでは、なぜロータリーは、会員増強に一生懸命なのでしょうか？

答えは簡単です。あなたのクラブは、発展しなければなりません。会員の数が多ければ多いほど多くのロータリアンが、地域社会や世界の各地で良いことをするために、四大奉仕部門を歩むことができるからです。

優秀なロータリアンとしての資格を備えな

がら会員として誘われない人々が、あなたの地域にはまだ数多くおられると思います。それらの人々は、なぜロータリアンではないのでしょうか？それは、いままでロータリーから誘われたことがなかったからにほかなりません。もしあなたもロータリーから誘われていなかったなら、ロータリアンとしての今のあなたはなかったはずです。

また、あなたのクラブは、地域社会の事業

および専門職務界の断面図となっていますか？

クラブ発展のためのロータリーの標準的青写真である充填、未充填の職業分類表をよく検討してみましょう。何らかの理由をつけて会員数を制限することは、ロータリーの最も基本的な原則に反するものです。

さあ、皆んなで会員を増強し、ロータリーの輪を全世界に広げましょう。

R I ニュースだより

8月には会員増強および拡大に焦点

毎年8月、会員増強および拡大月間に、ロータリアンは、クラブの会員数を増やし、地区内ロータリー・クラブ数を増やす方法を考えるよう求められます。既存クラブでは、1991～'92年度に、会員数が少し減少していますので、本年度、会員増強は、ロータリアンの一層大きな注目を集める必要があります。

クリフォードL.ダクターマン会長は、会員数を10パーセント増やせないロータリークラブはまず一つもないだろう」と言っています。会長は、会員増強をしないのもっともらしい理由のいくつかを退けます。例えば「量より質」「地域に適格な人がもういない」などの理由です。会長は言っています。「これらの古い言い訳は、1990年代の躍動的団体にふさわしくありません」。

どうすればクラブが本年度発展することができるか計画を立てるとき、次の措置を考慮してください。

- 若い候補者や女性を含めて、有望な候補者を探してください。
- 職業分類表を最新のものにし、空席の職業分類を充填しましょう。
- 空席の職業分類を全会員に発表し、適任者を推薦するよう奨励します。

○アディショナル正会員の会員資格を最大限活用しましょう。

○元会員が再入会したいかどうか知るために、本人に連絡します。

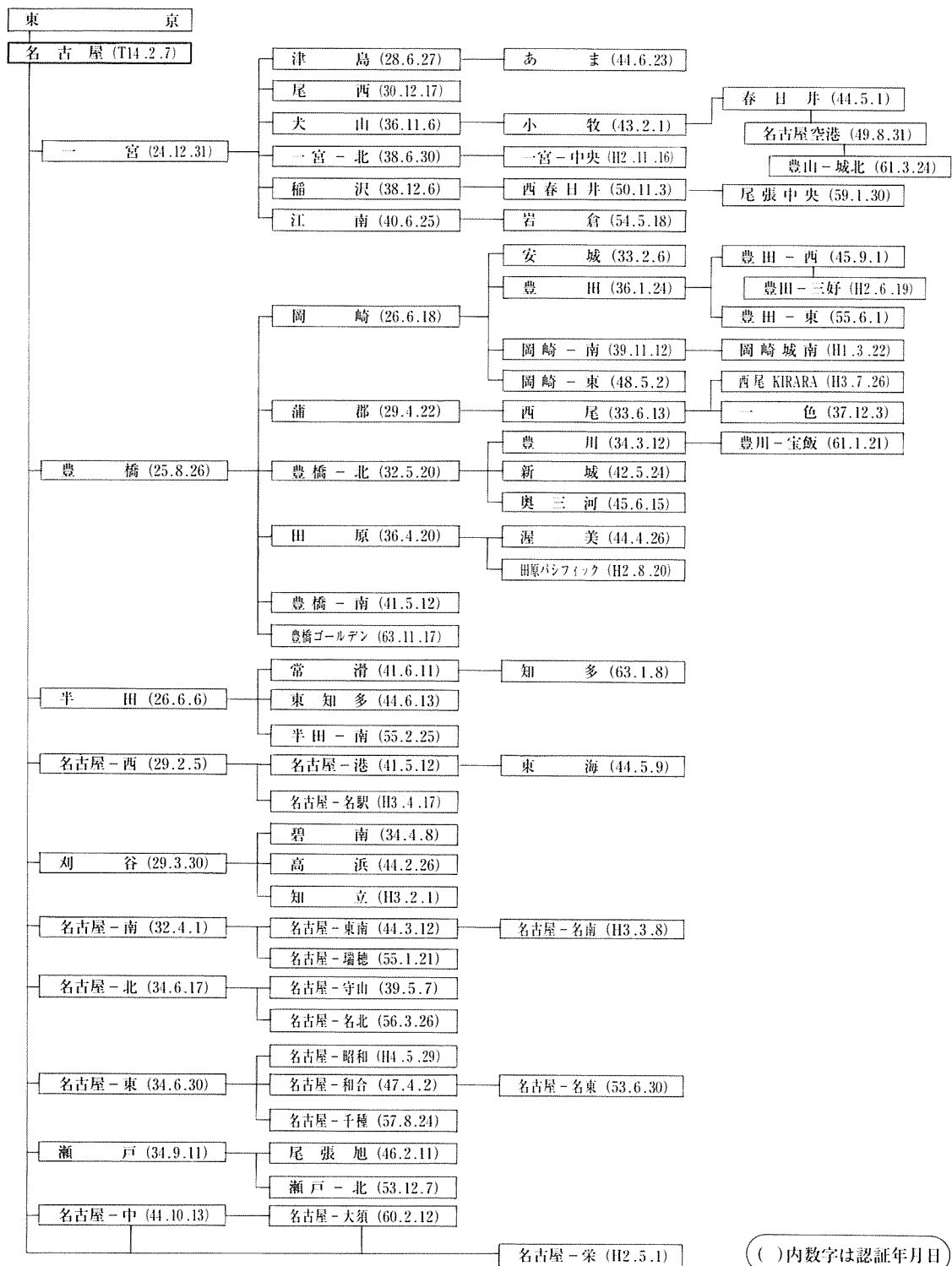
新会員を入会させるばかりでなく、すべてのクラブは、現会員をロータリーにおいて活躍させなければなりません。一つの方法は、各会員を少なくとも一つの委員に任命することです。また、例会プログラムを楽しいものにして、会員に1回でも見落とせないと思わせることです。最後に、派閥が形成されないようにして親睦を増進します。

拡大は、ロータリーの発展を図るもう一つの方法です。新クラブを結成するだけの十分な関心があなたの地域や近隣地域にありますか？十分な関心があるなら、あなたのクラブと例会曜日と時間の異なるクラブのスポンサーになることを考慮してください。

ロータリーの会員基盤を広げる方法の詳細については、**会員増強・退会防止の手引き**(CD3-417-JA)を参照してください。この資料は、あなたのクラブに1部無料で送りました。また、地区ガバナーまたは地区拡大委員長に照会してください。

(R.I.ニュースより)

第2760地区 ロータリークラブ拡大表



公式訪問だより

公式訪問はじまる

ガバナー 神戸 政治

ご承知の通り、R.I.の役員であるガバナーが地区内のクラブを訪問し、会長はじめ会員の皆さんと親しく諸問題を協議するのが公式訪問の目的であります。

公式訪問の予定につきましては、PETS資料をご覧いただければわかりかと存じますが、7月から11月までの5ヶ月間でほとんどのクラブを訪問しなければなりません。

分区代理による事前訪問も含めて、関係の皆様には何かとお世話になりますのでよろしくお願い申し上げます。

公式訪問はクラブ会長、幹事、会長エレクトとの協議、例会出席(卓話)、クラブ協議会の三つの要素からなり、例会時間が12時30分～13時30分の場合は、会長との協議は11時30分～12時30分、クラブ協議会は13時30分～15時30分のスケジュールであります。

○本年度は各クラブ“会長の目標”を要約して報告いたします。



津島 RC

'92年7月10日(金)

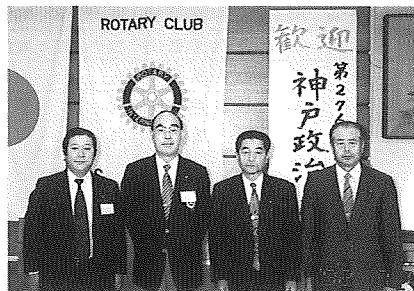
会長 伊藤正徳

幹事 高木輝和

会員数 93名

——会長の目標——

- (1) I.M.開催(1993年2月6日)を成功させるべく、一致協力して準備に励む。
- (2) 津島RC 40周年記念行事及びI.A.C. 10周年行事の成功に努力する。
- (3) 姉妹クラブ台湾淡水RCとの国際親善による相互交流を深める。



瀬戸 RC

'92年7月15日(水)

会長 戸田 肇

幹事 山田且己

会員数 82名

——会長の目標——

- (1) 郷土色豊かな地区大会を成功させる。
- (2) R.I.会長のテーマを推進する。

第2760地区ニュース・その他

1993～'94年度

ロータリー財団奨学生選考について

R財団奨学金(小)委員会 委員長 小出 忠孝

1993～'94年のR財団奨学生選考試験が、加納・中村バスターガバナーはじめ地区R財団委員会全員の出席のもと、去る6月13日名古屋千種区の愛知学院大学本部で実施されました。

当地区のR財団寄附額は、一昨年度全世界第3位で、R.I.会長賞が授与されるという大変輝かしい成績でした。その結果本年度の当地区へのR財団奨学生の割当は26名で、昨年迄の12～13名に比較して倍増という、当地区始まって以来の多人数となりました。しかしそれに対応するだけの応募者があるのか大変心配していましたが、各クラブの協力により34クラブから49名の推薦がありました。当日選考委員により三会場で面接試験が行われ、人物、語学力、R財団の理解度、留学の目的、地域性など総合的に慎重に審議した結果、2760地区を代表するR財団奨学生として、も

っとも相応しい26名の合格者と補欠2名を決定しました(別表)。合格者はガバナーよりR財団本部へ奨学生候補者として推薦されますが、11月末頃本部にて正式に決定される予定です。26名の内訳は男性9名、女性17名、志願国別では米国15名、英国7名、独、仏、加、豪が各1名、奨学金種類では大学院21名、大学3名、職業研修2名、選考別では英語教育、医学、文学、経営学、国際関係、社会学、ジャーナリズム等と多様でした。

本年度の特徴は語学力優秀者(TOEFL550点以上)が多かった事、女性が圧倒的に多かった事、奨学金種類では大学院希望が殆どであった事等があげられます。

R財団奨学金プログラムは、ロータリー活動の中でもっとも重要で、かつ有意義な事業であります。とくに本年はR財団創立75周年の記念すべき年であり、神戸ガバナーもそれに相応してR財団への寄附を要望されています。各クラブではガバナーのこの主旨をよく理解され、今迄以上のご支援と同時に、次年度にむけて優秀な奨学生のご推薦をお願い申しあげます。

1993～'94年ロータリー財団奨学生候補者一覧表

氏 名	性 別	年 齢	推薦クラブ	奨学金種類	氏 名	性 別	年 齢	推薦クラブ	奨学金種類
井 篁 一 彦	男	29	名古屋大	大学院	高 須 典 子	女	23	碧 南大	学
寛 天 留	女	26	名古屋大	大学院	石 川 文 也	男	27	碧 南大	学 院
牧 原 秀 雄	男	26	名古屋港大	学 院	道 木 規 子	女	27	刈 谷大	学 院
平 野 芳 彦	男	26	名古屋西大	学 院	三 好 祥 子	女	23	名古屋名東大	学 院
藤 田 孝 司	男	28	名古屋名駅大	学 院	平 野 千 晶	男	33	名古屋守山	職 業 研 修
水 元 利 香	女	25	名古屋千種	職 業 研 修	福 吉 真 知 子	女	22	名古屋守山大	学 院
森 嶋 由 紀 子	女	23	名古屋和合大	学 院	近 藤 真 治	男	30	名古屋東南大	学 院
松 野 佐 知 子	女	27	春日井大	学 院	近 藤 雪 絵	女	20	名古屋東南大	学
山 田 玲 子	女	22	尾 張 旭大	学 院	阿 部 玲 子	女	21	岡 崎 南大	学 院
中 山 強	男	25	瀬 戸大	学 院	鈴 木 朝 子	女	21	名古屋東大	学 院
加 藤 綾 恵	女	21	瀬 戸大	学 院	荒 井 さおり	女	22	名古屋東大	学 院
加 藤 久 美 子	女	24	瀬 戸 北大	学 院	立 松 亨 子	女	24	あ ま大	学
堀 川 史 子	女	25	稲 沢大	学 院	補1 道家本綿子	女	22	名古屋守山大	学 院
今 泉 貢 一	男	26	豊橋ゴールデン大	学 院	補2 丹羽英樹	男	22	犬 山大	学 院

ロータリー財団奨学生のガイダンス

地区R財団委員会 委員長 星野 充

〈ガイダンス式次第〉

司会 R財団学友会(小)委員会

委員長 矢島 茂

1. 開 会

2. 地区役員の紹介と挨拶

3. 学友並びに奨学生の自己紹介

4. ガイダンス

①地区財団委員長からのガイダンス

②地区役員からの助言

③先輩学友からの助言

1991～'92年度奨学生 下平明子

④質疑応答

⑤昼食

5. 閉 会

1993～'94年度R財団奨学生候補者のためのガイダンスが、去る7月19日(日)午前10時より、毎日ビル9Fの国際サロン“レインボールーム”において、出席者34名(奨学生候補者26名)によって開催されました。

R財団委員会より星野充委員長、近藤三吉副委員長、堀田逞二委員と、財団学友会(小)委員会より矢島茂委員長、天野道造副委員長、梅村東委員の各役員と、1991～'92年度学友生代表下平明子さんによりR財団奨学生としての心構えと役割、留学決定までの準備と諸手続きについて詳細な説明をしました。

また、奨学生候補者自身は、留学が実現するまでの間、当地区ガバナー、財団委員会、推薦クラブのカウンセラーならびに、R.I.財団本部のコーディネーターと密接な連絡をとるとともに、希望留学先決定のためのノウハ



ウについて、先輩学友生の貴重な体験を役立てるように指導が行われた。

質疑応答の時間には、奨学生から多くの質問が出され、約3時間の間活気をおびた有意義な会合となりました。

最後に、留学について更につっこんだ指導を行うために、今年の12月20日(日)にオリエンテーションを開催することを予告して閉会いたしました。

1992～'93年度

「地区大会」に 参加しましょう

今年度の第2760地区・地区大会は、瀬戸RCのホストで、11月22日～24日までの3日間にわたり開催されます。

大会は、第1日目、22日(日)は、ホテルナゴヤキャッスルで、第2日目、23日(月・祭日)は、瀬戸市体育館で、また、第3日目、24日(火)は、大会記念ゴルフ大会として、品野台C.C.において行われます。

「思い出深い」年次大会にさせていただくよう実行委員会で万端の準備が進行中です。ご家族共々、多数のご参加をお待ちします。詳細は次号にてお知らせいたしますが、あらかじめご予定くださいますようお願い申し上げます。

第2760地区ニュース・その他

第1回 地区諮問委員会

日 時 1992年7月4日(土) 11:30~14:00

場 所 名鉄グランドホテル

出席者 森 PDG、加藤 PDG、大隅 PDG、
奥谷 PDG、福田 PDG、田中 PDG、
高沢 PDG、盛田 PDG、中村 PDG、
加納 PDG、神戸 DG、宮地 DGN
(オブザーバー 鈴木地区幹事)

下記の件について、諮問委員会が開催された。

- ①1991~'92年度 地区会計決算(案)の件
- ②1994~'95年度 R.I. 第2760地区ガバナー・ノミニー候補推薦の件
- ③1992~'93年度 「意義ある業績賞」募集と選考委員選任委嘱の件
- ④1992~'93年度 地区大会に於ける下記委員会の選任委嘱の件(信任状資格審査、選挙管理、大会決議、登録)
- ⑤1992~'93年度 地区大会、地区企画委員会構成ならびに委員委嘱の件
- ⑥1992~'93年度 各分区 I.M. 開催の日程とリーダー、アドバイザー委嘱の件
- ⑦ I.A.C. 海外研修旅行および地区協議会の件
- ⑧地区大会・地区協議会の主催地の件
- ⑨1992~'93年度のための地区協議会決算について
- ⑩1992~'93年度 地区大会プログラム(案)ホストクラブ実行委員会組織について
- ⑪地区内、クラブ拡大状況について
- ⑫ロータリー財団奨学生の選考結果について
- ⑬ガバナー月信の購読申込状況について
- ⑭地区主要会議日程(7月~9月)について
- ⑮その他

第1回 地区国際奉仕委員会

地区国際奉仕委員会 委員長 小嶋 洋一

日 時 1992年7月2日(木) 12:30~14:00

場 所 名古屋ヒルトンホテル

神戸政治ガバナー、鈴木孝則地区幹事の他、国際奉仕委員会関係の委員12名が出席し開催された。

1992~'93年度の事業計画を中心に熱心な討議があり、各クラブの委員長会議を8月初旬に、尾張地区と三河地区に分けて開催することが決定した。

世界社会奉仕、青少年交換、国際友好の各小委員会での具体的な事業計画については、各クラブの国際奉仕委員長会議で示される予定ですが、その前に各クラブへ文書で送付されます。

米山記念奨学会

委員長会議開催のお願い

地区米山記念奨学会委員会 委員長 米田 春雄
地区内各クラブの米山記念奨学会委員会の委員長会議を下記により開催いたしますのでご予定ください。

記

日 時 1992年9月5日(土) 15:30

(なお18:00より懇親会を開催します。)

場 所 名鉄ニューグランドホテル

会 費 3,000円

9月は青少年月間です

ローターアクトについて

ローターアクト地区代表 光部 浩司

昨年度、東海ロータリークラブの提唱により、5年ぶりに新しいクラブ「東海ローターアクトクラブ」が誕生しました。

我々ローターアクトクラブは、「奉仕と親睦、そして人間性の向上」を目的に、18歳から30歳までの若い青年層で構成され、あたかもロータリークラブの青年部的イメージのクラブです。

現在地区内総勢200名の青年男女が会員になり活躍しています。

特に2760地区は、クラブ数が全国的にみても非常に少ないようですが、単位クラブでの会員数が多く、活発な活動が行われています。また、地区内外のクラブ間の壁を超えた招待行事が多く、お互いの交流が盛んに行われています。

9月の青少年月間の期間中には、地域社会に貢献出来る行事として、尾張ゾーンでは「清掃活動」を、三河ゾーンでは「献血活動」を行う予定です。

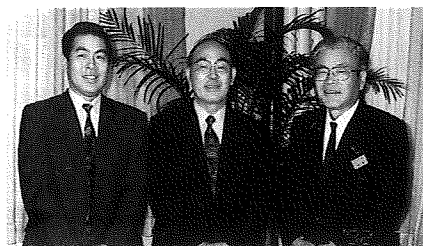
今後とも、ロータリアンの皆様には、ローターアクトクラブへのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

《年間行事予定》

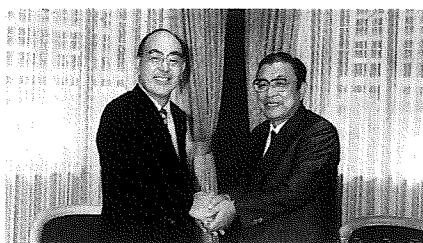
- | | |
|------------|----------------------------|
| ※会長・幹事会 | 7月19日・10月25日
2月7日・5月23日 |
| ※地区運営委員会 | 8月7日・9月27日
11月8日・12月6日 |
| ※ローターアクトの日 | 9月23日 |
| | (三河ゾーン 豊橋 R.A.C. 献血活動) |
| | (尾張ゾーン 江南 R.A.C. 環境保全) |
| ※部門別協議会 | 11月29日 |

- | | |
|-------------------|----------|
| ※海外研修(ニュージーランド) | 1月中旬 |
| ※世界ローターアクトの日 | 3月13日 |
| ※地区親睦行事(一宮 R.A.C) | 3月28日 |
| ※年次大会 | 4月24・25日 |
| ※アジア第1・第3ゾーン | |
| ローターアクト研修会 | 5月8・9日 |
| ※指導者研修会 | 6月19・20日 |

表 敬 訪 問



7月7日(火)13時00分 神戸ガバナーは、鈴木地区幹事、堀江地区副幹事を伴い、名古屋市役所へ西尾武喜市長を訪ね、就任の挨拶をしました。和やかな雰囲気です。予定の時間もあっという間に過ぎてしまいました。



7月9日(木)14時30分 神戸ガバナーは、鈴木礼治愛知県知事を県庁知事公舎に表敬訪問し、就任の挨拶をしました。

八礼会のメンバーということで、瀬戸で開催予定の地区大会の話など、話題に花が咲きました。

(八礼会とは、八高卒業生で、知事をはげます会。)

第2760地区ニュース・その他

ご応募ください！

「意義ある業績賞」

「意義ある業績賞」とは、ロータリークラブの奉仕活動の中で最も意義ある業績にふさわしいと思われるものを表彰するプログラムであって、各地区の地区ガバナーが受賞クラブを選ぶものと定められています。

地区ガバナーが受賞クラブを選定する場合の選考基準は、次の5項目となります。

- (1) その事業が地元の地域社会において、或いはその土地のみに限らず、誰の目からも重要と見られている問題またはそのニーズを対象とするものでなければならない。
- (2) その事業が単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものでなければならない。
- (3) その事業が他のロータリークラブもこれと競争して行うことができるようなものでなければならない。
- (4) その事業が当該年度に始められたものであることを要しないが、その事業が現に実施中のものであること、もしくは、その表彰の行われるロータリー年度に終わられるものであることを立証するものを提出しなければならない。
- (5) いかなるクラブも同一事業について重ねて業績の認証を受けることはできない。

○意義ある業績賞選考委員

委員長 盛田 和昭 (パスト・ガバナー)
委員 中村 繁男 (パスト・ガバナー)
委員 加納 泉 (パスト・ガバナー)
委員 神戸 政治 (ガバナー)

○申請書提出締切日 11月30日必着のこと

○申込書提出先

地区ガバナー事務所内、地区選考委員会

○申込書書式 自由

1992～'93年度

全日本ロータリークラブ会員名簿

あなたの友人12万人が収録されている1992～'93年度全国会員名簿の追加注文をお待ちしています。

●表記年度版の会員名簿には、全国33地区、約2千クラブ12万人余りの会員の職業分類、事業所、現住所が詳細に記載されています。

●新クラブ、新会員の記載のほか、2万ヵ所以上の訂正を行い、正確を期しました。

●新クラブ四大奉仕委員長のお名前に印を、また、I.A.C.・R.A.C.のスポンサークラブにはI.R.を付しました。

●各クラブ創立の際の特別代表のお名前も掲載しました。

●一組4,000円(消費税・送料別)お申し込みは、クラブ事務局を通じて、ロータリーの友事務所へどうぞ。

お申し込み先＝ロータリーの友事務所

〒105 東京都港区芝公園2-6-3

abc 会館8階

TEL (03)3436-6651 FAX (03)3436-5956

1992～'93年度 R.I.D-2760

I.M 開催案内

名古屋第二分区

日 時 1992年10月9日(金) 15:30～19:30
会 場 名古屋東急ホテル 3 F
ホスト 名古屋-北RC

西尾張地区

日 時 1993年2月6日(土)
会 場 ホテル キャッスルプラザ
ホスト 津島RC

名古屋第一分区

日 時 1993年2月22日(月)
会 場 ホテル ナゴヤキャッスル
ホスト 名古屋-西RC

三河第二分区

日 時 1993年2月27日(土)
会 場 岡崎商工会議所
ホスト 岡崎RC

三河第一分区

日 時 1993年2月28日(日)
会 場 新城文化会館
ホスト 新城RC

東尾張分区

日 時 1993年3月7日(日)
会 場 ホテル ナゴヤキャッスル
ホスト 豊山-城北RC

尾張第一分区

日 時 1993年3月27日(土)
会 場 大府勤労会館
ホスト 東知多RC

●● 9月の地区委員会行事案内 ●●

〈ロータリー財団委員会関係者会議〉

日 時 9月1日(火) 18:00～
場 所 名古屋観光ホテル「呉竹」
テーマ 当面の地区R財団関係の問題

〈第2回 諮問委員会〉

日 時 9月5日(土) 11:30～14:30
場 所 名鉄グランドホテル 12F

〈地区米山委員会会議〉

日 時 9月5日(土) 15:00～
場 所 名鉄ニューグランドホテル

〈ローターアクトの日〉

日 時 9月23日(秋分の日)

例会場等変更のお知らせ

岩倉ロータリークラブ

例会場、事務局、およびビジターフィーが
下記の通り変更になりました。

※例会場変更 (1992年8月4日から)

場 所 〒485 小牧ロイヤルホテル 2階
住 所 小牧市舟津神田746-3
T E L (0568) 75-1811

※事務局変更 (1992年8月17日から)

場 所 〒485 小牧ロイヤルホテル 601号
住 所 小牧市舟津神田746-3
T E L (0568) 71-4116
F A X (0568) 71-4120

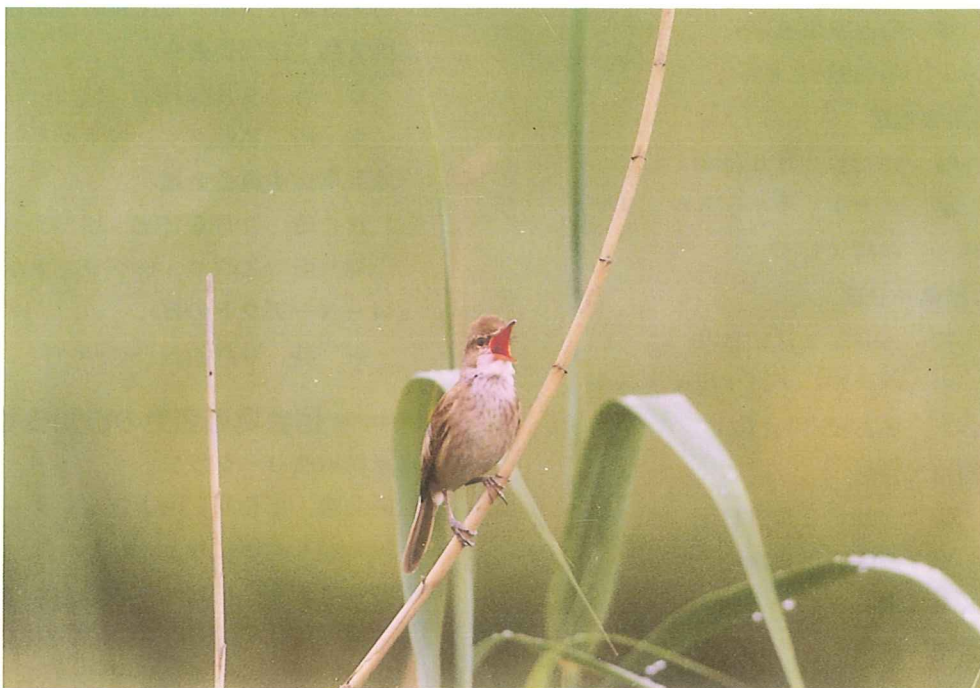
※ビジターフィー変更(1992年8月4日から)

金 額 ￥3,000-

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

7月8日 寺岡元明 (名古屋港RC)
7月15日 小島 廣 (名古屋名東RC)
7月29日 鈴木 清 (西尾RC)



「オオヨシキリ」

地味な淡かった色で、スズメより一回り大きな鳥。日本各地の水辺のヨシ草に4月下旬ころから渡来し、昼となく夜となくギョギョシ、ギョギョシ、ケケシ……と騒がしく鳴き、昔から夏の風物詩のひとつとなっている。

写真提供者：愛知県弥富野鳥園事務所